

大塚化学株式会社の事業適応計画のポイント

地球温暖化に関して、当社を含めた大塚グループ全体で、CO2排出量2017年比50%削減を目指している。
当事業において、ガスエンジンコージェネレーション、ボイラ設備を導入し、電気、蒸気、温水を有効活用することで、炭素生産性を41.3%向上することを目標とします。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2024年1月～2024年12月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を41.3%向上することを目標とします。

3. 前向きな取組の内容

計画初年度にガスエンジンコージェネレーション、ボイラ設備を大塚ホールディングス株式会社とのファイナンスリース契約にて導入。電気、蒸気、温水を有効活用し、CO2の排出削減を行う。また、グループ会社に自己託送を行い、グループとしての炭素生産性向上も目指す。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<設備導入のイメージ>

